

福岡県篠栗町

きせぐり

議会だより

No.226



友だちと力を合わせて
ぺったんぺったん!



令和7年12月議会号

意見交換会 (区長会) 2

12月定例会 6

ここをどうする!?(7人が一般質問) ... 10

特集 意見交換会

まちづくり・再開発は？

地域組織の課題は？

空き家はどうなってる？

自治会の現状は？

活発討議

第37回 区長会

篠栗町議会は「開かれた議会」を目指して、意見交換会を行っています。

今回は、全議員が参加して、区長会と地域で抱えている課題を共有しました。

6つのグループに分かれ、各グループに議員2名が加わり行いました。



防災に関する要望は？

区役員の選出は？

獣害の問題は？

交通弱者問題は？



活発だった意見交換会



地域組織・自治会の現状と課題

- ・自治会の差別化、魅力が必要。イベント等への参加をきっかけに加入を呼び掛けている。
- ・防災訓練など、加入者・未加入者が参加できる行事等があるとよいのでは。
- ・会員数が減少して、社協の会費や、赤い羽根共同募金の減少、街灯の電気料金の負担が増加するという問題が起きている。
- ・自治会が街路灯の電気料金を支払っている。加入者・未加入者の間で不公平感がある。町で払えないか。

防災への要望

- ・自治会加入の低下で防災力が低下している。全町での防災訓練の実施をお願いしたい。
- ・防災士を核とする自主防災組織を作ってほしい。
- ・消防団員の減少。一緒に勧誘に行くが厳しい、仕事などの理由で断られる。他町では班や分団の統合が進められているようだが。
- ・安心安全なまちづくりが自治会のメリットなので行政にも活発に発信してほしい。



山間部の課題

- ・山間部からの住民流出を考えなければならない。
- ・猟友会の高齢化・人数減少で駆除が進まない。
- ・イノシシやシカはクマのように危険動物扱いにはならないが、地域住民は相当な時間と費用を費やして対応している。
- ・獣害対策の予算が必要だが、現在の電気柵などの補助制度を一般住民にも広く適用できるようにすればよいのでは。
- ・水道の整備をしてほしい。



交通弱者問題

- ・山間部の住民や高齢者の買い物や通院のための移動手段の検討をしてほしい。
- ・篠栗駅と門松駅の間と、篠栗駅と山手駅の間でJRの駅ができると交通弱者の解消につながるのではないか。
- ・タクシーが少なく、夜はほとんどいない。緊急時は、本当に困る。



まちづくり・再開発

- ・篠栗駅前がさみしい。駅前の活性化策を。
- ・中学生や高校生に、こうなって欲しいと思う町の20年後の姿を模型などで示してもらいたいと思う。
- ・空き家の有効活用を促すような施策はとれないか。
- ・多々良川中・上流部の浚渫を県に依頼して欲しい。

区役員の選出について

- ・行政区で役員が弱者を助けるということの仕組みができればメリットもでて加入率も高くなるのではないかと。
- ・区役員の後継者を探すのに苦労している。再任せざるを得ない場合もある。
- ・役員負担軽減をすることで、退会も防止できるのでは。



今回は、たいへんお忙しい中、ほとんどの区長さんにご参加いただき、区長会と議会の意見交換会を開催しました。

多少の緊張感が漂いながらの開始となりましたが、次第に打ち解け、和やかな雰囲気の中にも熱の入った意見もあり、時間が足りないグループがあるなど大変盛り上がりました。

活発な意見交換の中で、地域課題や、町の将来像につながる意見を共有することができました。

「このような区長会と議会の意見交換会を毎年開催してほしい」といったご意見もいただき、好評のうちに意見交換を終えました。

ここで出た地域課題をまとめ上げて、今後の議会活動に活かして参りたいと思います。

ありがとうございました。

12月定例会

11月28日から12月8日までの11日間の会期で開催しました。
総務建設・文教厚生両常任委員会において、町長提出の条例案や補正予算、専決処分など計18議案を審査しました。
各議案に対する賛否一覧を9ページに掲載しています。

専決

農業用施設の災害復旧

専決処分の承認を求めることについて
(専決第13号)〔令和7年度篠栗町
一般会計補正予算(第6号)について〕
(議案第69号)



契約

体育館改修工事の追加

工事請負変更契約の締結について
(勢門小学校屋内運動場長寿命化改修工事)
(議案第74号)



工事請負変更契約の締結について
(北勢門小学校屋内運動場長寿命化改修工事)



(議案第75号)

変更金額 751万6080円増

総額3億3212万5200円

追加内容 入口側天井・渡り廊下・シロアリ対策

問 町の負担額は。

答 起債には普通交付税として財源措置されるが、町の負担額は現在算出中であるため、3月議会で報告予定である。見込みとしては、補助金を活用した場合と起債をした場合の比較では負担はほぼ変わらない。

問 追加工事概要は、当初から工事内容に含むことがわかっていたのでは。

答 当初の方針ではなるべく費用を抑え改修する箇所を最小限にし、不備があるところのみの予定だったが、工事を進めていくうちに安全

面等を考慮し、全体を改修することが必要と判断した。

変更金額 1008万4800円増

総額3億7286万4800円

追加内容 入口タイル張替・スクリーン設置・シロアリ対策

と判断した。

くうちに安全面等を考慮し、全体を改修することが必要と判断した。

8月の大雨で発生した萩尾道遷田地区農業用施設の災害復旧のため、一般会計補正予算を編成する専決処分について議会の承認を求められた。
歳出は、1100万円、歳入は普通交付税390万円、町債710万円を増額補正し、地方債補正として、災害復旧事業債を5350万円に限度額を変更する。



タイルの表面に凹凸がなく、滑りやすい既存のタイル



老朽化により改修が必要な入口天井屋根(デッキプレート)

校舎を増築

工事請負契約の締結について

〔篠栗小学校校舎増築工事〕

（議案第78号）



児童数と特別支援学級の増加に伴い、教室数不足となり増築を行う。

契約先 株式会社飯田工務店

契約方法 指名競争入札

契約金額 5億2470万円

工事期間 本契約締結日から令和8年8月31日

問 なぜ鉄筋コンクリート造になったのか。

答 1階が駐車場になること、2、3階は教室であることを鑑みて長期耐用でできる構造を選定した。

問 契約金額の中に設備は含まれているのか。

答 エアコン、黒板等設備を含めた金額。

問 教室不足である

とのことだが現在の状況は。

答 教員の休憩場所

も教室にしており、実際には教室は足りない状態である。



建物イメージ図

記念体育館にエアコン設置

工事請負契約の締結について

〔合併50周年記念体育館空調設備設置工事〕

（議案第79号）



契約先 株式会社 協和設備工業

契約方法 指名競争入札

契約金額 1億3799万4120円

工事期間 本契約締結日から令和8年6月30日

1階アリーナ 天吊り型室内機、空気循環用ファン

2階卓球場 天井カセット型室内機

問 空調機設置に伴い利用料金の設定は。

答 使用者や団体等の動向を確認し条例で料金の設定を考える。

問 体育館は避難所に指定されているが、停

電時にはどれくらいの稼働ができるのか。

答 ガスが満タンの場合で、三日間程度。

問 競技への影響は。

答 風向調整板を設置し、競技に影響が出ないようにする。

請 願

「篠栗町総合保健福祉センターにおけるトレーニングルーム及び温浴施設」の廃止撤回を求める請願書

（請願2号）



請願者 対馬亜由子（代表）、荒木清治、井之

上昇、北島一孝、白土孝子、吉野妙子

紹介議員 横山和輝、浦野雅幸、門馬良

（請願の概要）

9月議会において、「オアシス篠栗トレーニングルーム及び温浴施設」廃止の決定について、説明不足等を理由に廃止撤回を求める。

（継続審査 提案理由）

本件は、9月議会において可決された案件であるが、文教厚生常任委員会審査され、今定例会後に、開かれる説明会の内容や住民の意見を踏まえたうえで、慎重で適切な判断をする必要があることから、本請願の審査を現会期中に結論付けることなく継続審査とした。

各会計補正予算（議案第76号、77号、82号～86号）



会計別の補正予算額は下記のとおり。

一般会計の主な補正については表1～2のとおり。

国民健康保険特別会計については、債務負担行為の設定及び人事院勧告による人件費の増額補正、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、流域関連公共下水道事業会計については、人事院勧告による人件費の増額補正です。

（1万円未満四捨五入）

会 計	補 正 額	補正後予算額
一般会計	3億8985万円	158億9196万円
国民健康保険特別会計	105万円	27億3771万円
後期高齢者医療特別会計	91万円	5億7153万円
水道事業会計	84万円	6億3455万円
流域関連公共下水道事業会計	126万円	8億9279万円

（表1）歳入の主なもの

地方交付税	普通交付税	9639万円
国庫支出金	教育費国庫補助金（空調設備整備臨時特例交付金）	4192万円
	災害復旧事業費国庫補助金 （農業用施設災害復旧事業費補助金）	2997万円

（表2）歳出の主なもの

財産活用課	ガバメントクラウドサービス利用料 ※これまで役所ごとに異なっていた情報システムを、国が整備した安全なクラウドに統一して活用する仕組み。	1350万円
都市整備課	道路橋梁費（池の端線道路維持工事）	2237万円
学校教育課	勢門小学校、北勢門小学校 ・屋内運動場空調設備設置工事監理業務委託 ・屋内運動場空調設備設置工事	1071万円 1億9308万円
産業観光課	農業用施設災害復旧費 （萩尾道遷田地区頭首工災害復旧工事外2件）	4610万円
子ども育成課	くすのきベースSHIN 花壇整備工事 （全額補助事業 「福岡県美しいまちづくり推進事業」） ※道路、公園、公共施設、民間の敷地などで花を育て、県全体を花でいっぱいにする取り組み。	200万円

	議案	議案名		議決結果
12月定例会	69	専決処分承認を求めることについて（専決第13号） 〔令和7年度篠栗町一般会計補正予算（第6号）について〕	の 詳細は P6 の とおり	全員賛成原案承認
	70	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		全員賛成同意
	71	篠栗町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について		全員賛成原案可決
	72	篠栗町議会議員及び篠栗町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について		全員賛成原案可決
	73	篠栗町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例及び篠栗町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		全員賛成原案可決
	74	工事請負変更契約の締結について 〔勢門小学校屋内運動場長寿命化改修工事〕	の 詳細は P6 の とおり	全員賛成原案可決
	75	工事請負変更契約の締結について 〔北勢門小学校屋内運動場長寿命化改修工事〕		全員賛成原案可決
	76	令和7年度篠栗町一般会計補正予算（第7号）について	の 詳細は P8 の とおり	全員賛成原案可決
	77	令和7年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について		全員賛成原案可決
	78	工事請負契約の締結について〔篠栗小学校校舎増築工事〕	の 詳細は P7 の とおり	全員賛成原案可決
	79	工事請負契約の締結について 〔合併50周年記念体育館空調設備設置工事〕		全員賛成原案可決
	80	篠栗町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について		全員賛成原案可決
	81	篠栗町職員旅費支給条例の全部を改正する条例の制定について 撤回理由：運用について再度精査し、見直す必要が生じたため		撤回
	82	令和7年度篠栗町一般会計補正予算（第8号）について		全員賛成原案可決
	83	令和7年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	詳細は P8 の とおり	全員賛成原案可決
	84	令和7年度篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について		全員賛成原案可決
	85	令和7年度篠栗町水道事業会計補正予算（第2号）について		全員賛成原案可決
	86	令和7年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計補正予算（第2号）について		全員賛成原案可決
	請願 2号	「篠栗町総合保健福祉センターにおけるトレーニングルーム及び温浴施設」の廃止撤回を求める請願	の 詳細は P7 の とおり	継続審査

7人が一般質問

7人が一般質問

1. 村瀬 敬太郎 議員…………… 11

- 新しい表彰制度の創設を
- 広報の全戸配布、区役員の負担軽減は

2. 横山 和輝 議員…………… 12

- 何故、私有地で無断伐採を行ったのか
- 継続困難は説明しない理由にならないが

3. 崎山 佐穂 議員…………… 13

- 誰でも参加できる運動の場の創出を

4. 吉本 文枝 議員…………… 14

- こども誰でも通園制度進捗状況は
- 本当の自信を育む学校づくりを

5. 浦野 雅幸 議員…………… 15

- 廃止反対、住民の声に町長の考えは
- ワンヘルスについての具体策は

6. 太郎良 瞳 議員…………… 16

- 給食を通じた食と農の教育は

7. 荒牧 泰範 議員…………… 17

- 子育て世代に選ばれるまちづくりを

一般質問とは、議員が執行部に、その町の行政全般の事務執行状況や政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。

年4回開催される定例会の中で行うもので、臨時会では行いません。

ここに掲載したのは要約で、質問者本人の原稿をもとに作成しています。議事録の全文は議会事務局・町立図書館・クリエイト篠栗・オアシス篠栗・各公民分館および町ホームページで閲覧できます。

新しい表彰制度の創設を

町長「私も必要だと考えている」



録画配信
むら せ けい た ろ う
村瀬 敬太郎



問……………

篠栗町の表彰条例は条件が厳しく、それだけに権威があるとも言えるが、その対象の方は限られる。

近年、文化、スポーツ等、各方面で活躍し、わが町の振興・発展に寄与されている方々や将来を期待される方々が増えている。

新しい概念で、町民の誇りを共有し、未来の世代に夢や希望をつなぐ表彰制度を創設して、広くその栄誉や功績を讃えてはどうかか。

答【総務課長】

この条例に基づき表彰の対象となられた方の多くは、町の役職等を永年経験され、70歳に達した方で、自治の振興、善行に対する表彰のみで、教育・文化等の振興に寄与された方も対象となつてはいるが、広く町民を対象とした制度にはなっていない。

他の自治体では、名誉市民、名誉町民といった表彰制度もあり、それらを参考にしながら、町民の誇りを共有し、未来の世代に夢や希望をつなげるような表彰制度を検討したい。

答【町長】

陸上の太田蒼生選手、J2ベガルタ仙台で活躍中の荒木駿太選手も篠栗町出身である。

そうした将来有望な選手が結果を出した際に讃えられるような表彰規定が、私も必要だと考えている。

広報の全戸配布、区役員の負担軽減は

町長「新しい形を検討している」

問……………

広報ささぐり配布の民間委託が進んでいると聞いている。

現在は、自治会加入者のみが区役員・組長の役務負担の上之恩恵を受けている。

様々な意見があることは承知しているが、一定の負担軽減効果があり期待感もある。

どのように具体化するのか。

答【総務課長】

現在、各区役員及び組長の仕分作業や戸別配布の負担が大きいく、自治体未加入者へ広報紙が届かず、情報提供の公平性等が課題となっている。

糟屋地区では、民間業者による全戸配布が大半で、今後、区長会等のご意見を伺いながら実施に向けて進めたい。

答【町長】

現在、区、公民分館、子ども会育成会、PTAの在り方等について、皆様が取り組みやすいように事務局みtainなものをつくって、区役員の負担を軽減する仕掛けを篠栗スタイルとして発信できないか検討している。

新たな形を考える中で、組合加入のメリットも明確化できたらと考えている。



よこやま かずき
横山 和輝

録画配信



何故、私有地で 無断伐採を行ったのか

都市整備課長「地域の要望を受け、
確認不足の中、誤って伐採した」

問

今年8月頃、乙犬区で町民の私有地にある柿の木、栗の木を町が無断で伐採し、持ち出すという不可解な出来事が起こった。

担当課から詳細な説明がない中、何故このようなことが起きたのか。

答【都市整備課長】

6月5日に区長から、「樹木が電線にかかっているのでは何とかしてほしい」との要望があり、同日区長と現場立会いを行った。その上で、伐採業務を発注

している。8月24日に、所有者

から「柿の木を勝手に切られている」と申出があり、翌25日に区長と現場立会いを行い、所有地内の木を伐採していることを確認した。

所有者の方には、誤って所有地内の木を伐採したことについて謝罪を行い、補償の協議をお願いした。

問

伐採に要した公費は。

答【都市整備課長】

77万円である。

問

無断で入り、木を伐採し持つていく行為に対し公費は費やせないが。

答【町長】

関与した者に応分の負担をして弁済しなければいけないと思っている。

継続困難は説明しない 理由にならないが

町長「今後は、住民の理解を
得られるように対応したい」

問

9月定例会において、オアシス篠栗の温浴施設廃止が可決されたが、廃止になる過程は強引なやり方だと言わざるを得ない。担当課は「住民説明会を行えばトラブルになる可能性がある」と理解し難い理由で町民に知らせることなく審議を行ったが、なぜ急ピッチで進めるのか。

答【町長】

物理的な限界と、財政的な流出という課題に直面していた。老朽化により、万が一の事故を招く恐れがある。さらに、維持に年間約5、500万円負担しなければならず、先送りが見られない状況であったため、廃止と判断した。

問

ここは公共施設であり、廃止には必ず住民の周知を徹底し、意見を聞き理解してもらわなければならず、継続が難しいことは町民に説明しなくていい理由にはならない。説明を省く行為は、町民から何かあるのかと当然疑われるが。

答【町長】

説明が不十分だったことは、提案し、方向性を決めた時点での反響を考えると、一理あると思っている。廃止、他の用途に向けては今後、協議して多くの住民の理解を得られるように対応したい。

誰でも参加できる 運動の場の創出を

町長「環境づくりを進め周知と改善を図る」

問

ささリンピックは多世代が楽しめる活気あるイベントだったが、スポーツ団体に所属していない町民への広がりが十分と言えない。運動習慣は健康寿命の延伸に寄与し、誰でも参加しやすい環境整備は健康づくりとコミュニティ形成の重要な基盤である。ささリンピックを含むスポーツイベントを今後どのように改善するのか伺う。

答【町長】

より多くの町民が気軽に参加できるように初心者・親子向け

種目の設定、企業連携の拡大を図り、生涯スポーツの普及促進の機会として参加しやすいイベントへの改善を図る。

問

誰でも参加できる運動の場の創出について計画は。

答【町長】

町は総合計画、社会教育プラン、健康プランに基づき、生涯スポーツの普及促進や運動習慣づくりに取り組んでいる。体育館や公園を活用し、スポーツ推進委員や関係団体と連携してモルックやボッチャ等の軽スポーツの普及、体力測定会やラジオ体操の活用、ささリンピック等のイベント開催等参加しやすい環境づくりを進める。また施設の改修や近隣施設との連携により安全で利用しやすい環境を整備する。さらに広報方法の周知徹底と改善を図る。

問

トレーニングルーム閉鎖に伴う代替の運動の場や情報提供は。

答【健康課長補佐】

オアシス篠栗のトレーニングルームの在り方を踏まえ、町内の民間施設と連携を進める。今年度は体成分測定機器を導入し、筋肉量や脂肪量を測定できる環境を整えている。この機械等を利用して町民の運動管理を支援する。

問

健康課・福祉課・社会教育課をまたぐ運動に関する情報を一体的に案内する体制が必要ではないか。

答【町長】

健康づくり事業、介護予防事業、生涯スポーツ事業を整理集約し、広報紙やホームページで

一体的に掲載できる仕組みを検討する。案内の統一、イベント・講座情報の集約、検索性向上など、住民が必要な情報にアクセスしやすい体制を整えていく。



ささやま さほ
崎山 佐穂



録画配信



ささリンピックにおける体験コーナーの様子



よしもと ふみえ
吉本 文枝

録画配信



7月に保育施設長会議で制度実施に向けた協議を行い、2園から手が挙がっている。

問

保護者のニーズの把握と受付開始時期は。

答【こども育成課長】

ニーズ把握は難しく、国基準に基づき必要受入時間数や定員数を算出し、来年度の4月1日から受付を予定している。

問

親子通園の考えは。

答【こども育成課長】

検討している。現在は、児童館職員が子育てのアドバイスをしている。

問

保育の課題の改善策は。

答【こども育成課長】

既存施設の増築。保育士不足には広報などの周知や再就職の推進をしている。補助事業活用等ではできてない。

本当の自信を育む学校づくりを

教育長「自他の価値を実感できる環境づくりが重要」

いじめの認知件数が増えるなか、子供の心の安全を守るため、幼い頃からの自尊心や社会性の育成が重要と考える。植松努氏の「子供が本当の自信を身につけることで、いじめは確実に減らすことができる」という話に深く心を打たれた。

答【教育長】

一貫教育の中で「共育」を推進し、個別最適な学びと協働的な学びを重視し、子供が成長を実感できる場をつくる。

「分らないのが恥ずかしいことではない。分らないことから学習を始めるんだ。」ということから取り組ませていく。

問

本当の自信を持つことといじめ未然防止との関係をどう捉えるか。

答【教育長】

本当の自信は他者との優劣でなく、自分のよさを肯定できる力であり、こうした子供は、他者を攻撃して価値を確認する必要がないため、いじめに関与しにくい。自他の価値を実感できる環境づくりが重要である。

問

学校現場の具体的な工夫は。

問

ロケットをつくる体験や植松氏の講演を聞く機会を持てないか。

答【教育長】

植松氏に限らず、講師情報を集め講演機会の提供体制を整えていきたい。

※こども誰でも通園制度

保護者の就労の有無にかかわらず、すべての未就園児（0歳6か月から3歳未満）が、必要なときに保育所や認定こども園を利用できるようにする国の新しい制度。

こども誰でも通園制度 進捗状況は

こども育成課長「条例の制定や予算の確保を進めている」

問

制度準備の進捗は。

答【こども育成課長】

条例の制定や予算の確保を進めている。

廃止反対、住民の声に 町長の考えは

町長「協議の場を持って進めたい」

今年9月の定例会において、オアシス篠栗温浴施設の廃止、温浴施設の解体工事及び新施設的设计委託料が可決された。

問

温浴施設を改修するため6億円かかるとの説明だが、その根拠、内訳は。

答【町長】

これは、仕様や設計が固まった上での詳細見積り金額ではなく、プロジェクトの大きなコスト感を把握するための概算見積り額である。

問

新たな施設を建設するためには、解体費とあわせてどのくらいを見込んでいるのか。

答【町長】

解体工事や新施設の建設に係る具体的な費用については、委託業務の成果として算出されるもので、現時点で提示する金額はない。

問

解体工事を急ぐ理由はあるのか。

答【町長】

9月の議会で解体を一時止める話しをしているわけで、急ぐ理由はない。

問

町は利用者を増やすためにどのような努力を行ってきたか。

答【町長】

指定管理者と連携して、オアシス篠栗再生プロジェクトによ

る館内デザインのリニューアルや、25種類に及ぶ限定グッズの開発、また、JRウオーキングへの協力、多世代を対象としたイベントやオアシスカフェの開催など、ソフト面の集客努力を行ってきた。

問

施設廃止の撤回または延期を望む住民の声が多くあるが、町

長の考えは。

答【町長】

頂いた意見を踏まえ、どのような形であれば住民福祉を守るのか、トレーニンググループ存続等の可能性も含めて、協議の場を持って進めたい。

ワンヘルスについての具体策は

町長「町の特色を生かした

取り組みを行う」

問

篠栗町はワンヘルス推進宣言を行っているが、具体的にどのような施策を展開していくのか。

答【町長】

人獣共通感染症の増加や、生態系の変化、森林破壊、食糧問題などの様々な問題がそれぞれ独立しているのではなく、相互に影響し合っていると考え、こ

の問題を解決するためには、ワンヘルスの理念に基づく総合的な取り組みが重要であるとの認識である。

今後、講演会などのソフト面に限らず施設面も、町単独ではなく県と一体化して取り組みことや、民間のボランティア活力を活用する等、いろんな立場の方々の意見やアイデアを参考にし、篠栗町の特色を生かしたよりよい取り組みを行う。



うらのまさゆきの浦野 雅幸



録画配信

給食を通じた食と農の教育は

学校教育課長「関心・理解が
深まるよう取り組む」



録画配信
たろうらひとみ
太郎良 瞳



問

学校給食で、地産地消の観点から地元産の食材の活用も進められているが、給食では大量の食材を安定して供給する必要もあり、形や大きさの条件もあるため、地元産を使うことは、課題があり、負担も生じてくると聞いているが。

答【学校教育課長】

地元産食材の使用は野菜、果物、コンニャク、味噌など積極的に活用している。農家側の負担や課題を把握し、学校側の状況や要望を共有する場として、

食育定例会議を開催し、納品された農産物の状況や、双方の要望についての意見交換と情報共有を行っている。

問

農家の方との交流を通じて、農業や食の大切さを学ぶことは農業に親しみや興味を持つきっかけとなり、将来の担い手づくりにつながる大事な取り組みと考える。

答【学校教育課長】

農家の方へ取材を行いその動画を給食時間に放映したり直接お話いただく等、子供たちと交流できる取り組みも実施している。

今後も、関係機関等が密に連携し、新鮮で安心できる地元産

食材を安定的に提供していただけるよう努めるとともに、子供たちが食への関心を高め、地域農業への理解を深めるよう、取り組みを継続していく。

問

子供たちが農業に関心を持ち、農業の大切さを学び広げるための取り組みを考えているか。

答【学校教育課長】

各小学校において、田植えや稲刈りの体験活動を事業の一環として実施しており、食べ物と大切にする心を育むとともに、食と農への理解を深める上で効果があると考えている。給食委員会の子供が皮むきや枝取りの作業体験も実施しており、食材が食卓に届くまでのプロセスも体感する機会となっている。これらの体験は農家の皆様や、地



萩尾分校における田植えの体験活動

元ボランティアの方々のご協力により成り立っている。
今後も、地域学校協働活動推進委員が学校と地域の橋渡し役となり、これらの体験活動が継続・発展できるよう調整し、子供たちが農業に関心を持ち、その大切さを主体的に学び広げていけるよう、地域と連携した取り組みを推進していく。

子育て世代に選ばれる まちづくりを

町長「多世代交流拠点として模索中」

問

様々な目的で各地へ研修に行くが、その中でも勢いを感じる町は子供を連れた若い保護者が多く見受けられる。

それらの町はどこも厳しい財政状況の中、早くから保育園の待機児童0人、給食費の無償化、ママ友たちが集える公園整備などが成されている。

継続的な活気あるまちづくりの為に人口増加を、特に若い世代の増加施策を行うべきと思う。

若い母親が子育てしやすいまちを作らなくてはならない。



あらまき やすのり
荒牧 泰範



町長はオアシス篠栗を新たな福祉の拠点とし福祉バスの在り方も再考する方針を打ち出されているが、私はオアシスを全天候型のキッズパークにしてエントランスにファストフード店や取れたて野菜の販売所を設けママたちが楽しく過ごせて楽に子供を遊ばせる施設にするべきと思う。

加えて福祉バスは少額の有料化コミュニティ・バスとし商業施設や金融機関などを巡回し生活の足と使えるようにすべきと思うがいかがか。

答【町長】

町としても子供達が遊べるスペースや保護者同士、あらゆる世代が交流できる「多世代交流拠点」として温浴施設跡地の活用を模索している。

現在のオアシス篠栗は総合保健福祉センターであり静かで安

全な環境が必要であるので、商業的な賑わいにより利用環境が損なわれてはいけない。

したがって福祉施設としての原点に立ち返り、誰もが安心して過ごせる環境の中で、いかに子育て支援機能を充実させるか考えており、その上で子育て世代にとっても快適な施設となるよう議会と協議し検討する。

福祉バスは、ご提案の生活の足として使えるバスへの転換は住民の利便性を高める上で大変重要な視点であると認識している。しかしながら生活交通へのニーズは福祉バスの役割とは本質的に異なる。

従いまして既存のバスの改良でなく新たな移動手段の構築が必要であるので、住民の皆様の声を踏まえ、現在、交通政策所管のまちづくり課において検討している。



視察研修先（茨城県境町）の全天候型施設と自動運転バス

常任委員会合同視察研修

(令和7年10月23～24日)

茨城県・東京都

「ふるさと納税を軸としたまちづくり」
「子育て支援策」について (境町)

今回の研修では、執行部とともに、

境町のふるさと納税を軸としたまちづくりや返礼品開発、子育て支援、アーバンスポーツ施設、自動運転バスの導入など、先進的な取り組み等の視察研修を行った。発想の転換やスピードある実行力、人材育成を軸に、教育・住居・雇用・交通・産業を連動させた循環型まちづくりが行われており、地方創生の参考となる点が多くあった。

分野横断で好循環を生む仕組みづくりには、行政と民間の連携、住民への丁寧な説明も重要であると再認識した。

研修で得た知見を議会活動に活かし、地域の課題解決やまちづくりに取り組みたい。

自然環境・新エネルギー対策
特別委員会視察研修

(令和7年10月30～31日)

宮崎県

① 「森林・林業・林産業活性化九州大会」
「宮崎ソーラーウェイ株式会社 都農発電所」

②

① 森林・林業・林産業活性化九州大会参加

国土の7割を森林が占め、木材の供給のほか国土や環境の保全、自然災害への防災機能など森林はかけがえない財産である。その森林を次世代に引き継いでいく持続可能な取り組みが必要との大会決議が採択された。本町も森林が7割を占め、林業の持続可能性は大きな課題である。自然との共存とともに地域活性の資源として活用することが必要である。

② 宮崎ソーラーウェイプロジェクトとしてリニア試験線跡地を利用した太陽光発電所を見学。宮崎県と都農町と民間企業が連携して取り組み、発電された電力は町内施設に供給され電気の地産地消が行われている。本町はカーボンゼロシテイを目指しており、再生可能エネルギーの導入は必要であり太陽光発電は有力な選択肢である。県や民間との連携も不可欠であり、経済的な持続可能性が課題である。

町村議会広報研修会

(令和7年11月7日)

博多サンヒルズホテル

「戦略的広報と議会報づくりの型」

参加者：品川・浦野・村瀬・栗須・

太郎良・吉本・門馬・崎山

広報活動はより良い地域社会の実現に寄与する重要な役割であることを研修を通じて再認識した。議会だよりのクリニックにおいて、講師からいただいた掲載優先順位、タイトルや余白の活かし方など表現方法に関する助言を参考に町民に必要なとされる情報発信に努めたい。



市町村議会議員研修

(令和7年11月19日～21日)

全国市町村国際文化研修所

「新人議員のための地方自治の基本」

参加者：太郎良

議員としての基礎を見直し視点を深めたいと思い受講した。

地方自治や議会制度の基礎に加え、条例・政策の視点を総合的に学び、実際の自治体の条例を題材にした討議も行い、条文のねらいや課題を具体的に考える良い機会となった。条例づくりの制度の成り立ちや財政の背景を踏まえて考える大切さを確認し、根拠に基づいた提案づくりを行い、住民の皆様に分かりやすく伝えることの重要性を感じた。学びをいかし現実に応じた判断と説明ができるように努めていきたい。

主な議会活動報告 令和7年10月～12月

会 議 名(事件内容)

10月		
6日	糟屋郡5町ブロック廃棄物対策協議会	
9日	広報広聴委員会	
10日	北筑昇華苑組合第1回臨時会(古賀市役所)	
14日～15日	須恵町外二ヶ町清掃施設組合議員視察研修(三重県)	
16日～17日	町村監査委員全国研修会(東京都)	
22日	鞍手町監査委員例月出納検査視察	
	例月現金出納検査(令和7年9月分)	
27日	糟屋地区議長協議会	
30日～31日	粕屋南部消防組合議会視察研修(東京都)	
11月		
3日	篠栗町自治功労者表彰式	
5日～6日	国交省及び福岡県選出国会議員等への要望活動(筑豊横断道路建設促進期成会)(東京都)	
9日	篠栗町消防団非常呼集訓練	
	糟屋郡民スポーツ大会 開会式	
11日～12日	第69回全国町村議会議長全国大会(東京都)	
13日	糟屋地区副議長会(粕屋町)	
15日	社会福祉協議会法人格取得50周年記念式典	
18日	議会運営委員会	
	町議会と区長会の意見交換会	
19日～20日	糟屋地区副議長会先進地視察研修(兵庫県)	
25日	例月現金出納検査(令和7年10月分)	
25・28日	広報広聴委員会	
28日	議会運営委員会	
定例会 28日	開会/付託議案審査(総務建設常任委員会)/全員協議会	
12月		
定例会	2日	付託議案審査(総務建設常任委員会・文教厚生常任委員会)
	3日	補正予算審査
	4日	一般質問
	8日	採決
8日	議会運営委員会	
8・11・24日	広報広聴委員会	
24日	文教厚生常任委員会	
25日	例月現金出納検査(令和7年11月分)	

議会運営委員会	栗須委員長・品川副委員長・荒牧・今長谷・村瀬・吉本 (古屋議長)
総務建設常任委員会	品川委員長・浦野副委員長・荒牧・村瀬・横山・崎山
文教厚生常任委員会	吉本委員長・太郎良副委員長・今長谷・栗須・門馬 (古屋議長)
広報広聴委員会	品川委員長・浦野副委員長・村瀬・栗須・太郎良・吉本

輝く まちの宝

火を想定、命を守る——消防団の非常呼集訓練



篠栗町消防団は、秋の全国火災予防週間に合わせ、実際の火災を想定した非常呼集訓練と送水訓練を実施しています。町の安心安全を守るために欠かせない取り組みです。防災の意識や日頃の備えについて、皆さんと一緒に考えるきっかけになることを願います。

旬花衆灯

町を歩いていると、ふとした瞬間に心が温かくなる
ことがあります。

すれ違った人がかけてくれる「こんにちは」や、店先で交わす「寒いですね」と言っただけの一言。それだけのほんの短いやり取りなのに、心がふっと温まるから不思議です。大げさなことではなくても人との小さなふれあいが、その日一日を心地よくしてくれるように感じます。

寒さ厳しい季節だからこそ、身近な温もりに気づき、大切にしながら過ごしていきたいらと思います。

太郎良 瞳

3月議会は

2 / 26 (木) 開会

3 / 2月 一般質問

の予定です

発行責任者 議長 古屋 宏治 議会広報広聴委員会 委員長 品川 静 / 副委員長 浦野 雅幸
委員 栗須 信治・村瀬 敬太郎・太郎良 瞳・吉本 文枝

令和8年2月1日発行

発行 / 篠栗町議会 福岡県糟屋郡篠栗町中央一丁目1番1号 TEL092-947-1390 FAX092-947-7977

印刷 / 株式会社三光